

さいたま市

# がん対策推進計画

平成 28 年度～平成 35 年度  
概要版



## < 基本理念 >

市民が互いに支え合い、  
がんになっても安心して暮らすことのできる地域社会の実現

「さいたま市がん対策推進計画」は、市民一人ひとりががんについて理解を深め、がんの予防や早期発見に努め、そしてがんになっても、自身の生き方に係る選択が主体的に行え、「自分らしさと尊厳」を持って住み慣れた地域で生活できるよう、市民、事業者、保健医療関係者、市がそれぞれの役割を果たし、一体となつてがん対策を総合的かつ計画的に推進するものです。

本書では「悪性新生物」を「がん」と表記しています。  
本計画の詳細なデータや取組内容は、市ウェブサイトをご覧ください。

# 1. さいたま市の現状

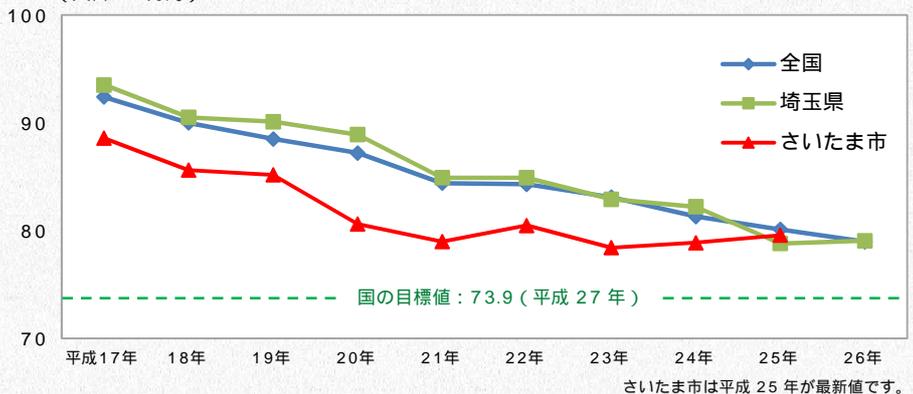
## がんによる死亡の現状

本市の主要死因別死亡割合の第1位はがんであり、全死亡の約3割を占めています。一方で、75歳未満のがんの年齢調整死亡率（人口10万対）は減少傾向であり、全国及び埼玉県と同様の傾向です（図1）。

この年齢調整死亡率の減少を国は目標に掲げているところであり、本市としても、国の目標達成に向け取組を進めているところです。

年齢調整死亡率  
(人口10万対)

図1 75歳未満のがんの年齢調整死亡率



出典：国立がん研究センターがん情報サービス『がん登録・統計』、がん対策推進基本計画中間報告書、さいたま市保健統計より作成

年齢調整死亡率...年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整し揃えた死亡率。

## がん検診受診率

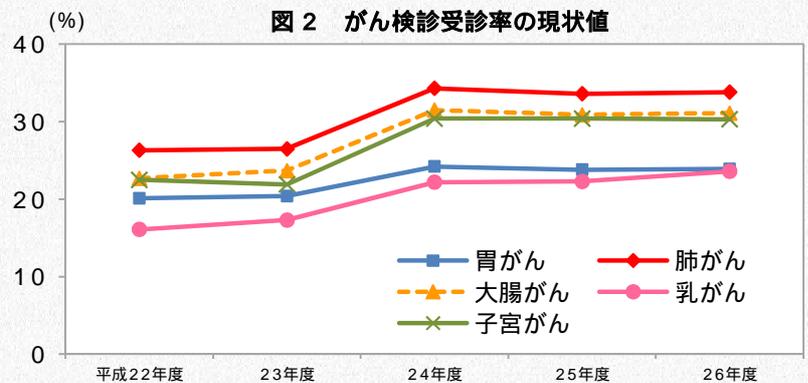
本市では、がんを早期に発見し、適切な治療を行うことでがんによる死亡を減少させるため、がん検診を実施しています。

がん検診の受診率は停滞しているものの受診者数は増加している状況です（図2）。

平成24年度から受診率の算定方法が変更となっています。

出典：さいたま市保健所地域保健支援課調べ

図2 がん検診受診率の現状値



がん検診受診率の目標値  
(平成28年度)

胃がん・肺がん・大腸がん検診...40%以上  
乳がん・子宮がん検診...50%以上

## 市内事業所の調査結果

市内事業所のがん検診の実施状況を見ると、40.5%が協会けんぽ、健保組合、共済組合等と共同して実施しており、6.9%が事業主として事業所単独で実施していました。これは従業員規模に関わらず、概ね同様の傾向でした（図3）。

図3 事業所におけるがん検診の実施状況



がんの5年相対生存率が上昇している現在、仕事と治療の両立が実現できる職場づくりの必要性を「強く感じている」及び「どちらかというと感じている」事業所は70.3%である一方、多くの事業所で従業員が私傷病になった際に対応に苦慮した経験があることがわかりました（図4）。

5年相対生存率...がんと診断された場合に、治療でどのくらい生命を救えるかを示す指標。

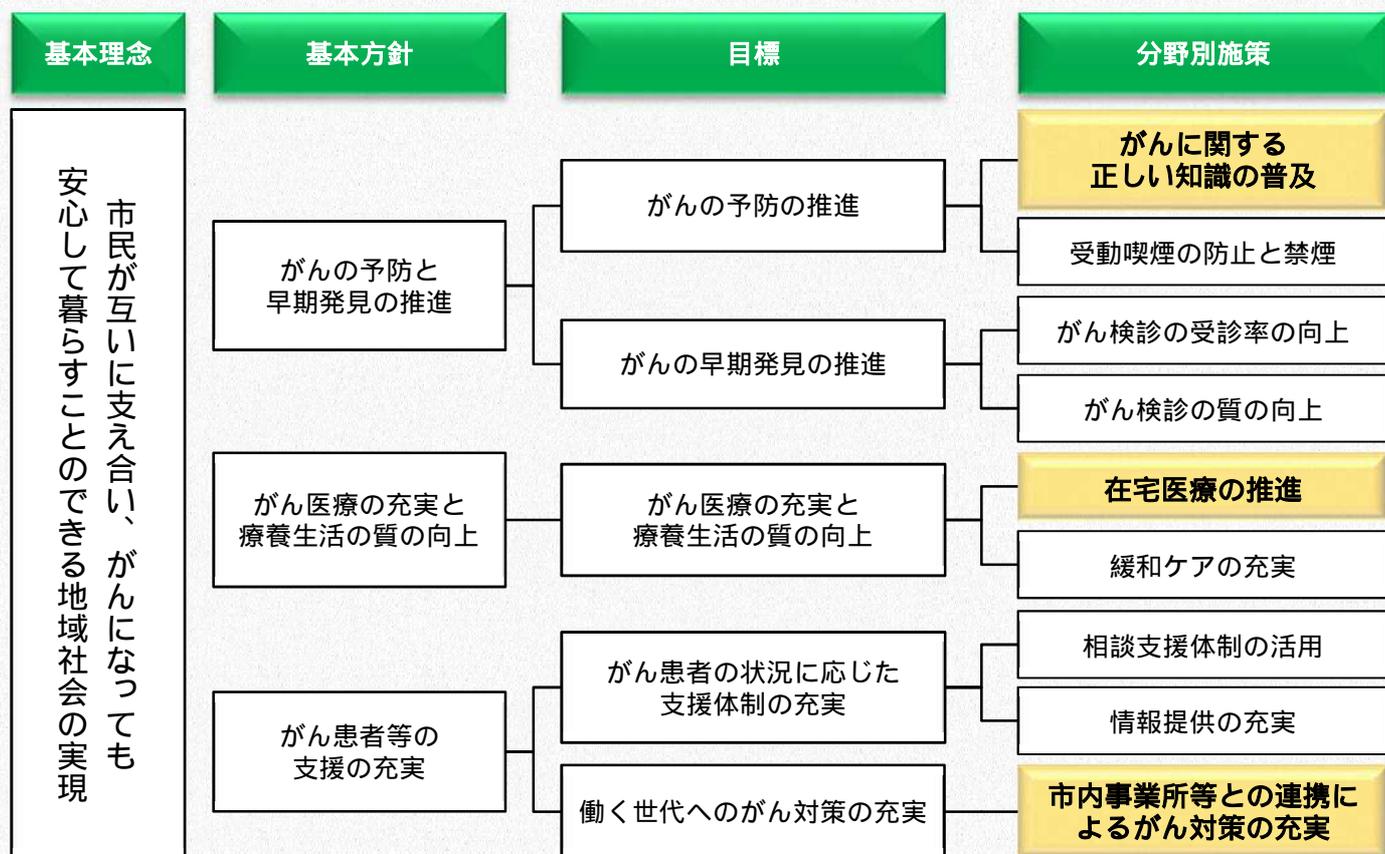
図4 従業員が私傷病になった際に対応に苦慮したこと（複数回答において回答の多かった上位3つ）



出典：さいたま市がん対策等に関する事業所実態調査（平成27年度）

## 2. 施策の体系図

本計画は、基本方針に沿って、目標及び分野別施策を掲げています。



分野別施策の太字は本計画における重点的な取組を示しています。

分野別施策として掲げた項目に広く関わる3つの施策を、重点的な取組として掲げ、これらを中心に積極的な施策の展開を図ります。

### 重点的な取組

#### 1. がんに関する正しい知識の普及

年代や罹患の有無に関わらず、がんに関する知識やがん患者に対する理解を深めるため、がんに関する正しい知識の普及に取り組みます。

#### 2. 在宅医療の推進

限られた社会資源のなかで、がん患者が住み慣れた地域で安心して療養生活を送ることができるよう、切れ目のない支援が提供される在宅医療の推進に取り組みます。

#### 3. 市内事業所等との連携によるがん対策の充実

がん患者が働きながら治療や療養ができる環境や、家族ががんになった場合でも働き続けられるよう、市内事業所等と連携しがん対策に取り組みます。

### 3. 目標・分野別施策

#### 1. がんの予防の推進

分野別施策の太字は本計画における重点的な取組を示しています。

##### がんに関する正しい知識の普及【重点的な取組】

- がんの発生リスクや生活習慣の改善等がんの予防に関する正しい知識の普及啓発
- がんの種類ごとの正しい知識の普及啓発
- 子ども（児童及び生徒）、障害のある方、労働者等に対するがん教育の充実

##### 受動喫煙の防止と禁煙

- たばこの害に関する正しい知識の普及啓発
- 受動喫煙に関する正しい知識の普及啓発
- 禁煙支援の推進



#### 2. がんの早期発見の推進

##### がん検診の受診率の向上

- がん検診の方法や重要性に関する正しい知識の普及
- 重点的に受診勧奨すべき対象者（ターゲット層）を絞った効果的ながん検診の受診促進及び受診しやすい環境整備
- 事業者へのがん検診の普及啓発及び事業者等と連携した受診率の向上対策の実施

##### がん検診の質の向上

- がん検診の精度管理指標に関するモニタリング（受診状況の正確な把握）と精度向上
- がん検診及び精密検査の必要性の正しい知識の啓発と受診促進
- がん検診指針を踏まえた科学的根拠に基づく質の高い検診の実施

#### 3. がん医療の充実と療養生活の質の向上

##### 在宅医療の推進【重点的な取組】

- 病院から地域において在宅療養を支援する機関へのスムーズな移行に向けた情報共有
- 地域において在宅療養を支援する多職種連携の強化
- 医療と介護の連携の強化
- 地域において在宅療養を支援する多職種を対象とした研修の実施

##### 緩和ケアの充実

- 緩和ケアに関する周知の推進
- がん診療連携拠点病院を中心とした連携体制の推進
- 地域における緩和ケアの推進



#### 4. がん患者の状況に応じた支援体制の充実

##### 相談支援体制の活用

- がん相談支援センターの機能及び利用方法に関する周知の推進
- 既存の相談支援窓口に関する周知の推進
- 患者サロン等患者が集う場所に関する周知の推進
- 地域（全国）がん登録により明らかになった罹患率及び生存率等の情報の活用

##### 情報提供の充実

- 対象者に応じた情報提供の実施
- 地域（全国）がん登録により明らかになった罹患率及び生存率等の情報の活用

#### 5. 働く世代へのがん対策の充実

##### 市内の事業所等との連携によるがん対策の充実【重点的な取組】

- がんと診断された後にも働き続けるための現状やニーズに関する市内事業所の実態の周知
- 職場の関係者に対するがんに関する正しい知識の普及啓発
- 産業保健スタッフ等相談窓口の周知



さいたま市がん対策推進計画 概要版 平成28年度～平成35年度

平成28年3月発行

〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4 さいたま市保健福祉局保健部健康増進課

TEL 048-829-1294 FAX 048-829-1967

このさいたま市がん対策推進計画(概要版)は15,000部作成し、1部当たりの印刷経費は、14円です。